

Explanatory Document for the Fairtrade Trader Standard

トレーダー基準 解説書



Photos: Tea – India, Didier Gentilhomme; Cocoa – Ivory Coast, Marie-Amélie Ormières; Flowers – Kenya, Fairtrade International SU; Bananas – Dominican Republic, Nicolas Gauthy

この文書は、フェアトレード認証を取得しているトレーダー（認証事業者）に適用される要求事項を説明しています。また、生産者およびライセンサーにとって、この文書はトレーダーの要求事項についての知識を高めるのにも役立つでしょう。

国際フェアトレードラベル機関は、この説明文書をすべての利害関係者に提供して、基準の意図と要求事項を説明し、これらを完全に理解するためのガイドを提供します。

ただし、この説明文書は基準の一部でなく、また基準に置き換わるものでもありません。認証事業者の監査は、この説明文書ではなくトレーダー基準に従って行われます。

内容

この文書の目的	3
1. 一般的な要求事項	3
• 1.1. フェアトレードで取引する権利	3
• 1.2. 国際フェアトレード認証ラベルの使用	3
2. トレード:	4
• 2.1. トレーサビリティ	4
• 2.2. 製品構成	7
3. 生産:	8
• 3.1 労働と 3.2 環境	8
4. ビジネスと開発	9
• 4.1 契約	9
• 4.2 フェアトレード価格とプレミアム	10
• 4.3 タイムリーな支払い	13
• 4.4 金融へのアクセス	14
• 4.5 調達計画と市場情報	15
• 4.6 リスクの共有	16
• 4.7 キャパシティ・ビルディング	16
• 4.8 誠実な取引	17

この文書の目的

この文書は、国際フェアトレードトレーダー基準の理解を助けることを目的としています。トレーダー基準(<https://www.fairtrade.net/standard/trader>)およびフェアトレード製品基準(<https://www.fairtrade.net/standard/about>)と併せて確認する必要があります。

1. 一般的な要求事項

☑ 1.1. フェアトレードで取引する権利

サプライチェーンのある時点でフェアトレード認証製品(原料)の所有権を取得する、またはフェアトレード価格およびフェアトレード・プレミアムを取り扱う取引事業者は、取引を開始する前に認証機関から仮認証を受ける必要があります(req. 1.1.1)。仮認証の取得後、国際フェアトレード基準を遵守して取引されているかを確認するために監査が実施されます。認証事業者は、保管および加工を含むフェアトレード活動に関連するすべてのサイトに、監査人がアクセスできるようにして下さい(req. 1.1.2)。

さらに認証事業者は、認証原料の倉庫および委託製造組織に対して、フェアトレード基準を遵守すること、監査を受け入れることを要求し、これらの組織を事前に認証機関に登録する必要があります(req. 1.1.3)。認証機関は、製造委託組織で基準が遵守されていないリスクがあるかどうかを評価し、監査が必要かどうかを判断します。

トレーサビリティを確保するために、トレーダーは、認証製品(原料)を認証されたサプライヤーからのみを購入することができます(req. 1.1.4)。同時に、トレーダーは認証製品(原料)を認証トレーダーのみに販売することができます(req. 1.1.5)。

なお、小規模生産者から原料を購入する場合、トレーダーは組合の個々のメンバーからではなく、生産者組織から製品(原料)を購入する必要があります。それができない場合、認証事業者は理由を説明する必要があり、取引条件を取り決めた契約を結ぶ必要があります(req. 1.1.6)。

生産者または買い手がフェアトレード認証を一時停止された場合、両当事者が別段の同意をしない限り、既に契約締結で合意された認証製品(原料)の取引は履行されます(req. 1.1.7)。

生産者または購入者が認証取消となった場合、認証取消日以降、フェアトレードとしての製品(原料)の販売または購入をすることができません(req. 1.1.8)。

すべての認証事業者は、フェアトレードを担当する主要な連絡担当者を一名指名し、最新の連絡先とその他関連情報を認証機関に提供する必要があります(req. 1.1.9)。この担当者は、会社の国際フェアトレード基準遵守に対する責任を負い、基準を遵守するための十分な手段や対策を実施する必要があります。

☑ 1.2. 国際フェアトレード認証ラベルの使用

フェアトレードに関する商標またはフェアトレードを参照する際には、事前の申請と承認が必要です。トレーダー基準には、商標を使用する際の条件と方法に関する基準が含まれており、詳細は認証ラベル使用ガイドラインに従う必要があります。この要求事項は、フェアトレードまたは

フェアトレードに関する言及、およびコミュニケーション全般(req. 1.2.1、1.2.2、1.2.3)にも適用されます。

2. トレード：

☑ 2.1. トレーサビリティ

トレーサビリティとは、個々の認証製品(原料)が、サプライチェーンのすべてのステップおよび関連するすべての文書およびパッケージにおいて、フェアトレードとして識別可能であることを意味します。物理的なトレーサビリティの目的は、フェアトレードとして販売される製品が認証生産者から調達されていることを保証することです。一方、書類上のトレーサビリティとマスマランスの目的は、適用されるフェアトレード価格とフェアトレード・プレミアム（奨励金）をフェアトレード生産者が受け取っていることを保証することです。

トレーサビリティに関するトレーダー基準は、次の3つの分類に分けられます。

- **書類上のトレーサビリティ** → すべての認証事業者に対して適用される必須要求事項
- **物理的トレーサビリティ** → カカオ、砂糖、フルーツジュース、茶、および国際フェアトレード原料調達制度（Fairtrade Sourcing Ingredients; FSI）コットンを除くすべての認証事業者に対して適用される必須要求事項。

カカオ、砂糖、フルーツジュース、茶、FSI コットンのトレーダーは、自主的に物理的なトレーサビリティの適用を選択することもできます。

- **マスマランス** → 物理的トレーサビリティの適用を希望しない、カカオ、砂糖、フルーツジュース、茶を取り扱う認証事業者、FSI コットン参加組織に適用される必須要求事項。

書類上のトレーサビリティとは何ですか？

すべての認証事業者に対して、書類上のトレーサビリティが義務付けられています。認証製品(原料)は、すべての文書で「フェアトレード」として識別する必要があります。（例えば、"FLO フェアトレード"、買い手の FLO ID の表記など）すべての認証事業者は、フェアトレード製品をどこから購入して、誰に販売したかを記録する必要があります。契約、船荷証券、納品書、請求書などの書類には、取引量、売り手/買い手などの情報を記載する必要があります。また、以下の情報は文書化する必要があります。

- 認証原料(製品)の販売記録: 原料(製品)の形状、量、バイヤーの名前、取引日
- 製品の加工記録: どのような加工がされているのか、歩留まりなど

認証事業者は、すべての関連情報を記録するためのシステムを用意する必要があります。フェアトレード・ペイヤーは、四半期ごとに、フェアトレードの取引についてすべての詳細を含む報告書を認証機関に提出して下さい。

また、販売量（アウトプット）は、調達された認証原料(製品)の量（インプット）を上回っていない必要があります。



FAIRTRADE
INTERNATIONAL

すべての認証事業者に対して物理的なトレーサビリティが必須要件ですか？

原則として、国際フェアトレード基準では、すべての製品および認証事業者に対して物理的なトレーサビリティを要求しています。しかし、カカオ、茶、砂糖、フルーツジュース製品に物理的なトレーサビリティを適用することは製造工程の特性から大変難しいことが分かりました。そのためフェアトレードの生産者、労働者の利益を守るため、これらの製品には物理的なトレーサビリティを要求していません。※ただしこれらの製品にも、物理的なトレーサビリティが推奨されています。

物理的なトレーサビリティは何を意味しますか？

フェアトレードサプライチェーンにおける物理的なトレーサビリティは、サプライチェーン全体、生産および加工のすべての段階を通じて、常に認証原料と非認証原料を分けて管理することが要求されます。(カカオ、紅茶、砂糖、フルーツジュース製品を除く)。

例えば、フェアトレード認証コーヒーはフェアトレード以外のコーヒーと保管、製造、輸送時に混在させることはできません。

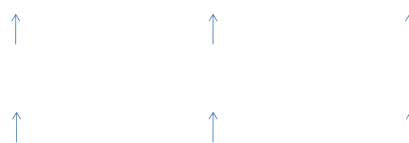


製品を加工する場合、認証原料(製品)は非認証原料(製品)とは異なる製造ラインで処理する必要があります。これが不可能な場合、認証原料(製品)は非認証原料(製品)とは異なる時間に加工される必要があります。認証事業者はまた、認証原料(製品)が非認証原料(製品)と混ざるリスクを最小限にする必要があります。

また認証事業者は、認証原料が非認証原料と物理的に明らかに識別可能であることを確認する必要があります。例えば、販売者の FLO-ID、ロット番号および/または製品識別マークと共に、「FI フェアトレード」などのテキストを表示するなどです。

カカオ、茶、フルーツジュース、砂糖の認証事業者は、物理的なトレーサビリティを適用するかしないかを選択できます。物理的なトレーサビリティを満たした認証製品を希望する、カカオ、紅茶、フルーツジュース、砂糖の認証事業者は、調達した認証製品(原料)が、物理的なトレーサビリティの監査を受けた認証事業者から調達されているかを確認してください。

サプライチェーン全体で物理的なトレーサビリティ要求事項に対して正常に監査された認証製品のみが、物理的なトレーサビリティを示す認証ラベルの貼付と説明文を製品パッケージに表示することが許可されます(図 1 参照)。



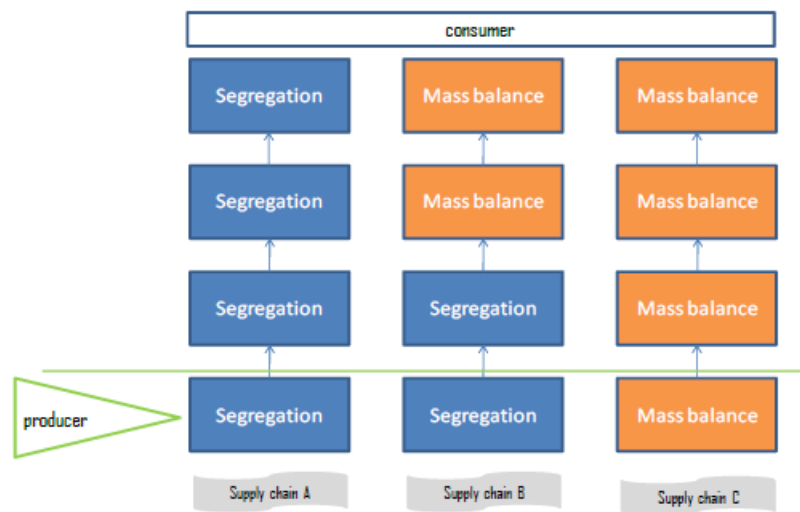


図1: 物理的なトレーサビリティがとれた製品として販売できるのは、サプライチェーンAだけです。

マスバランスは何を意味しますか?

マスバランスは、カカオ、砂糖、フルーツジュース、茶、FSI コットン、金のソーシングプログラムの認証事業者にのみ適用され、物理的なトレーサビリティは適用されません。マスバランスの実践には、次の2つのタイプがあります。

- 単一サイトのマスバランス

これは、生産者または企業が工場にフェアトレード原料を供給する場合、そのサイトで処理された原料のうち、供給された相当量のみが認証原料(製品)として販売されることを意味します。たとえば、認証生産者が紅茶 50 トンを加工工場に供給した場合、工場はフェアトレードとして供給された 50 トンを認証紅茶として販売することができます。

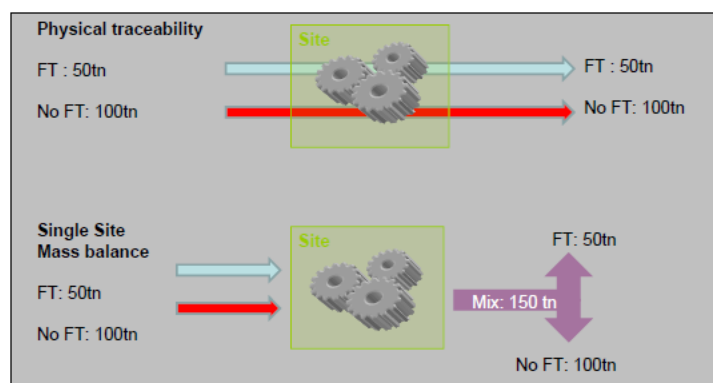


図2: 単一サイトでの物理的トレーサビリティとマスバランスの例
青い矢印は製品原料の流れを表し、赤い矢印は非認証原料の流れを示す。

- グループマスバランス

会社全体が購入する認証製品(原料)の量は、フェアトレードとして販売する加工品の量と一致する必要があります。認証事業者は、各サイトの生産拠点全てから売買された総量について監査を受けます。

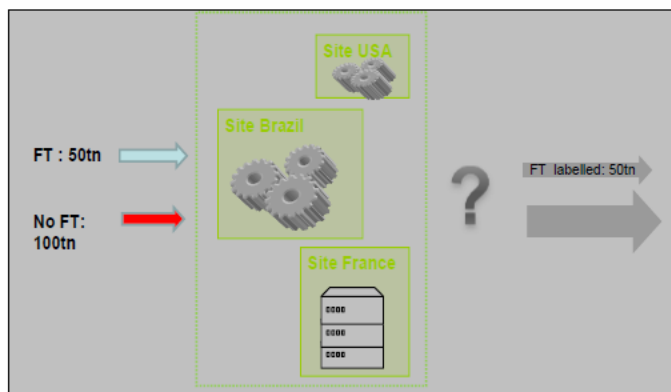


図 3:グループマスバランスの例

青い矢印は認証原料の流れを表し、赤い矢印は非認証原料の流れを示す。

マスバランスを実施するすべてのカカオ、紅茶、砂糖、フルーツジュース事業者は、認証原料の加工に使用されるものと同じ種類と品質のフェアトレード原料を調達する必要があります。

認証事業者が高品質のカカオで作られたフェアトレードチョコレートを販売する場合、調達する認証原料は低品質のカカオ豆であってはなりません。認証事業者がフェアトレードの有機砂糖を販売する場合、購入する原料が非有機のフェアトレード砂糖であってははいけません。認証事業者がフェアトレードの緑茶を販売する場合、購入した原料がフェアトレードの紅茶であってはなりません。

複合材料製品(複数の材料を含む製品)を扱う一部の認証事業者は、フェアトレードの追跡可能なナッツとフェアトレードの非追跡可能なココアと砂糖を使用したチョコレートなど、追跡可能と追跡不可能なフェアトレード原料を使用することがあります。カカオ、砂糖、紅茶、フルーツジュースのみが物理的なトレーサビリティから免除されます。複合製品のフェアトレード追跡可能原料が、追跡不可能なフェアトレード原料と混合されるとトレーサビリティが失われることになります。認証事業者は例外を申請する必要があります。

🔍 2.2. 製品構成

いくつかの原料を含む消費者向け製品は、食品複合材料製品(Food Composite Product) (以下、「複合材料製品」と呼ばれます。トレーダー基準のセクション 2.2 では、複合材料製品が認証ラベルを貼付できる条件を説明しています。

複合材料製品とは何ですか？

複合材料製品は、消費者向けの飲み物や食品で、複数の原料が含まれている製品をいいます。典型的なフェアトレードの例はチョコレートです。チョコレートは、認証カカオと認証砂糖で作られますが、牛乳や乳化剤のようなフェアトレード基準がない他の原料も含まれています。

複合材料製品の要求事項は何ですか？

- **最低フェアトレード原料の割合:** 複合材料製品の原料の少なくとも **20%**は、フェアトレード認証原料を使用する必要があります。
- **フェアトレード割合の計算方法:** 認証原料の割合は、固体の重量、液体であれば体積で計算されます。水や乳製品が製品重量または体積の **50%**以上を占める場合、水や乳製品を計算から除外することができます。認証原料の割合は、**加工前のすべての原料の総重量（または体積）**を基に計算されます。
- **製品には、利用可能な限り多くの認証原料を使用する必要があります。** ライセンシーと認証事業者は、製品および/または原料にできるだけ多くのフェアトレード原料を使用できるように、あらゆる努力をする必要があります。フェアトレードとして入手可能な原料は、最終製品を占める割合に関係なく使用する必要があります(最終製品の **1%**未満を構成する成分も認証原料を使用する)。
- **例外の適用:** 目標はできるだけ多くの認証原料を使用することですが、時に様々な理由により認証原料が利用できないことがあります。このような特別な状況下において、ライセンシーおよび事業者は、認証原料の代わりに非認証原料を使用する例外適用の申請をすることができます。例外は、次の場合に承認される可能性があります: 生産者の供給不足、不十分な品質、取り扱う組織の不在、など
- **例外委員会:** 国際フェアトレードラベル機構の例外委員会は、各国のフェアトレード機関が一貫した透明性のある方法で例外承認をしているかを監督するとともに、特定の例外タイプの申請に対し決定を下します。例外委員会はまた、以下のウェブサイトで閲覧できる利用不可原料のリストを管理しています。

<https://www.fairtrade.net/standard/trader>

3. 生産 :

🚩 3.1 労働 と 3.2 環境

NEW: 労働と環境の要求事項の導入は、生産者とトレーダー、特に自分自身で輸出する小規模生産者組織と加工組織間の労働と環境要求事項のレベルを平準化することを意図しています。これらの要求事項は、ほとんどの国で既に国内および国内の法律に盛り込まれているものです。フェアトレードは常にこれらの法律を遵守することをトレーダーに期待してきました。トレーダー

基準に本要求事項を追加することで、労働法や環境法に対する違反が特定された場合に、アクションを起こすツールとしての役割を果たします。

労働に関して:

- すべてのトレーダーは、国内および国際労働法および基本的な ILO 条約(3.1.1)を遵守することが期待されています。

環境について:

- すべてのトレーダーは、国内の環境法(3.2.1)を遵守することが期待されています。
- 生産者が認証原料(製品)の生産に使用できない物質を定めた禁止物質リストは、サプライチェーン全体に沿ってトレーダーに拡大されました。(3.2.2)。環境セクションには、トレーダーが環境への悪影響を減らすことを奨励するための、以下のいくつかの自発的なベストプラクティスが含まれています。

環境への悪影響を最小限に抑える(VBP 3.2.4)、リサイクルまたは生分解性パッケージ(VBP 3.2.5)を使用する、またはカーボンフットプリントを削減する(VBP 3.2.6)

4. ビジネスと開発

📄 4.1 契約

すべてのフェアトレードの販売は、書面による契約によって規制されなければなりません。目的は、フェアトレードの業務の透明性を確保し、すべての当事者がフェアトレード取引の条件について非常に明確になるようにすることです(ペイヤーの場合は req 4.1.2、コンベイヤーの場合は req 4.1.4)。買い手は、合意された契約を作成する責任があります。署名された契約は両当事者に拘束力があり、両当事者が同意した場合にのみ変更できます。契約の中でフェアトレード基準の要求事項と矛盾するものがあってはなりません。また、契約当事者間の対立が発生した場合、合意に達する方法に関してメカニズムを契約に含める必要があります。⁴

認証事業者が同じ生産者の組織から認証原料と非認証原料を購入した場合、両方の取り決めを分離する必要があります。特に、認証事業者は、フェアトレード契約を締結するための要求事項として、非認証原料(製品)の販売に対する低価格または支払い条件、支払い期日などの不利な条件を生産者に受け入れさせることはできません。

NEW: Fairtrade Minimum Price; FMP (フェアトレード最低価格) が設定されている取引とは異なる条件で取引が行われる場合、契約には価格の計算方法と、フェアトレード最低価格から差し引かれる場合にはその詳細な内訳を含める必要があります。(たとえば、価格が FOB 条件で設定され、購入者が EXW 条件で生産者から購入する場合、輸出コストの差額は契約に記載する必要があります)(req.4.1.3)。

NEW: コンベイヤーは、認証原料(製品)の販売状況に関して四半期ごとに生産者に知らせる必要があります。それにより、生産者は将来的に受け取るフェアトレード・プレミアムの用途について

計画することができます。コンベイヤーは、購入契約ごとに、正確な販売量、価格差額、プレミアム支払い、および販売者(req.4.1.5)を明らかにする必要があります。

コンベイヤーが生産者/コンベア/フェアトレード・ペイヤーの三者契約を締結すること、または自分とバイヤーとの契約を生産者に共有することが、ベストプラクティスと考えられています。生産者は自分たちが販売した原料が次のバイヤーに販売されるすべての条件を知ることができます(req.4.1.8)。

⁴ 国際商業会議所(ICC)による「仲裁規則」は、ここで利用可能です:

www.iccwbo.org/uploadedFiles/Court/Arbitration/other/rules_arb_english.pdf

認証事業者はまた、「ICC 規則 仲裁するためのガイドライン」を参照することができます:

www.iccwbo.org/uploadedFiles/Court/Arbitration/arbitration/small_claims.pdf

また、一部の製品には固有の要求事項が含まれているので、各製品基準も確認してください。

例えば:

- 花や植物の場合、契約要求事項(req 4.1.1)に関するセクションは適用されません。ここでは、調達計画を契約と同様に処理し、トレーダー基準で必要な契約項目(品質、価格、支払い条件、納期)、およびさらに見積数量を示します。最終購買注文は書面で確認する必要があります。
- 生鮮果物、生鮮野菜、ドライフルーツについては、契約に関連する追加の項目が製品基準に記載されています。

4.2 フェアトレード価格とプレミアム

生産者は、認証原料(製品)の少なくとも市場価格、またはフェアトレード最低価格(存在する場合)を受け取る必要があります。さらに、生産者はフェアトレード価格に上乗せして、フェアトレード・プレミアムを受け取ります。

市場価格:

市場価格は、同等製品の「通常の」価格として理解されています。生産者と認証事業者は、契約書に記載される、認証原料(製品)の価格を定義するために参照される情報源に同意する必要があります。製品基準に示されている市場価格(コーヒーとカカオの基準を参照)を定義する場合、この参照を使用して市場価格を計算する必要があります。

特定の製品に対して、定義されているフェアトレード最低価格がない場合(例えば、ほとんどのハーブやスパイス、果物、花など)、認証事業者は少なくとも「通常の」市場価格を支払う必要があります。

フェアトレード最低価格が市場価格よりも高い場合、認証事業者はフェアトレード最低価格を支払う必要があります。

フェアトレード価格のペイヤーは、認証原料(製品)を購入する際に直接フェアトレード最低価格を支払い、コンベイヤーは最初に市場価格を支払い、その後、フェアトレード最低価格と既に支払われた価格の差額を支払います(「differential」と呼ばれます)。

フェアトレード最低価格

フェアトレード最低価格とプレミアムは、国際フェアトレードラベル機構の次のウェブサイトから入手できます <http://www.fairtrade.net/price-and-premium-info.html>。

フェアトレード最低価格に含まれる費用に関する詳細は、製品基準に記載されています。

小規模生産者の組織では、価格は常に個々のメンバーではなく、組織レベルで設定されます。つまり、組織に支払われる価格から、処理や輸送などの組織管理費用やその他の一括費用が差し引かれます。これは、個々のメンバーが最終的に生産者組織に支払われた価格よりも少ない金額を受け取ることを意味します。

価格レベル

フェアトレード最低価格は、認証原料(製品)の所有権が売り手から買い手に渡される時点を決定するトレードチェーンの特定のレベルで設定されます。したがって、どのコストが設定価格でカバーされるべきか、または、カバーされるべきでないかはケースによって異なります。

Ex Works は、販売者が、販売者の施設またはその他の指定場所(工場、製造所、倉庫など)で物品を買主の処分に委ねた時に引き渡しの義務を果たすことを意味します。この規則では、売主は物品を引き渡す際、車両に積み込む必要もなく、通関の義務もありません。合意された場所への輸送のためのコストは、通常、フェアトレード最低価格に含まれています。買い手は、すべての料金に責任があります。引き渡しが生産組織外の収集ポイント(例えば港)で行われる場合で、輸送に関連するすべての費用がフェアトレード最低価格に含まれていない場合は、買い手が負担すべきです。

基準で定める **Farm Gate**⁵ は、個々の農家のゲートを意味するものではありませんが、生産者組織のゲートを指します。国際フェアトレード基準では、この用語は、製品固有の基準に特定の記述がない限り、**Ex Works** と同じ意味となります。

FOB は、製品が指定される出荷港において船舶に貨物を積み込んだ時点で製品の引き渡しが完了することを意味します。その時点から、買い手は製品の損失または損害のすべての費用とリスクを負う必要があります。出荷港への製品の輸送と積載コストは価格に含まれていますが、買い手は他のすべての費用に責任があります。

生産者が負担する可能性がある輸送、特定の梱包または処理などのフェアトレード最低価格でカバーされない可能性のある追加コストは、すべて適用される価格に追加する必要があります。同じことが反対の状況にも当てはまります:コストがフェアトレード最低価格に含まれており、生産者が契約で責任を負わないと合意した場合、これらのコストは買い手によって差し引かれる可能性があります。輸送、処理、輸出コストを含む価格構造は、契約書に記載されるべきです。

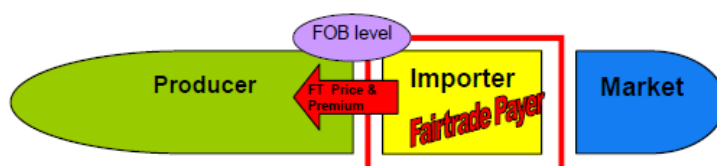
すべての加工された認証原料(製品)に対しては、原料のフェアトレード価格とフェアトレード・プレミアムを計算の基礎として設定します。有機農産物の場合、フェアトレード最低価格とフェアトレード・プレミアムはそれぞれ、より高い価格が設定されています。また、この場合でも、市場価格が高い場合は市場価格が適用されます。

(TS、4.3.5)に、生産国で販売される原料(製品)と生産者によって処理される製品(TS、4.3.6)の価格要求事項が追加されました。⁵ファームゲートは、以前国際フェアトレードラベル機構で使用されていた古い定義です。その後、国際フェアトレードラベル機構の価格レビューでは、「Farm Gate」という用語が「Ex Works」に置き換えられました。

フェアトレード・ペイヤーとコンベイヤー

フェアトレードでは、生産者がバリューチェーンの上に位置し、認証原料(製品)に付加価値を与え、より多くの責任と所有権を引き受けることを奨励しています。したがって、フェアトレードは生産者が直接輸出することを奨励しています。

生産者が直接輸出する場合、輸入者はフェアトレード最低価格とプレミアムを支払う責任を負うフェアトレード・ペイヤー(支払者)となります。



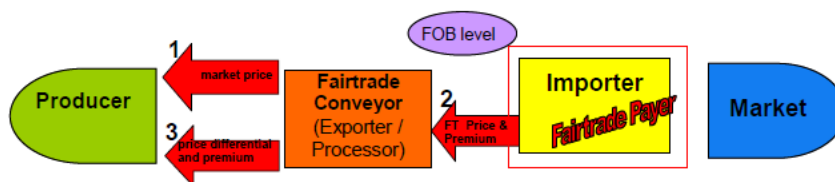
いくつかのサプライチェーンは、生産者は輸出業者を介して販売しています。輸出業者は、生産者に市場へのアクセスを提供する上で重要な役割を果たしています。生産者が輸出業者を介して販売する場合、輸出者の役割は、輸出者が取る責任に応じて異なる場合があります。

輸出者(Exporter)は、フェアトレード・ペイヤーとして、またはコンベイヤーとして機能します。輸出業者がペイヤーかコンベイヤーかはサプライチェーンによって異なり、またそれぞれのケースで異なる場合があります。トレーダー基準の附属文書1では、誰がペイヤーとして行動し、誰がサプライチェーンのコンベイヤーとして機能しうるのかに関するより多くの情報を提供しています。

以下の図の場合、**輸出業者はフェアトレード・ペイヤーとして機能し**、生産者から認証原料(製品)を購入する際に、フェアトレード最低価格または関連する市場価格のいずれか高い方を支払う責任があります。



コンベイヤーとして機能する輸出業者は、まず生産者から購入し、適用される市場価格を支払い、製品の所有権を取得します。輸出業者が輸入業者に製品を販売すると、彼らはフェアトレード・プレミアムと差額(フェアトレード最低価格と彼らがすでに支払った価格の違い)を支払います。



フェアトレード・プレミアム

価格に加えて、フェアトレードの支払者はフェアトレード・プレミアム(4.2.7)を支払う必要があります。フェアトレード・プレミアムレベルは国際フェアトレードラベル機構のウェブサイト(<https://www.fairtrade.net/standard/minimum-price-info>)で確認することができます。小規模生産者の場合、生産者組織に直接支払う必要があります。雇用された労働者タイプの場合では、フェアトレード・プレミアムは、合同機関 (Joint Body) の口座に送金する必要があります。

フェアトレード・プレミアムは、フェアトレードのペイヤーによって個々のメンバーに支払われることはありません。また、フェアトレード・プレミアムは減額できません。

両当事者は、信用状や銀行振込などの支払いと受領のための最良のメカニズムに合意します。すべての支払いが文書化されます。

フェアトレード最低価格とフェアトレード・プレミアムは、国際フェアトレードラベル機構によって定期的に見直され、その価格は現在の状況に適応されています。認証事業者は、新しいまたは更新された価格を認識し、それらを適用する必要があります。

4.3 タイムリーな支払い

このセクションの目的は、支払いができるだけ早く行われるようにすることです。フェアトレード・ペイヤーの正確な支払条件は、製品基準で定義されます。フェアトレード・プレミアムの支払いは、製品代金の支払いから明確に分離する必要があります。

フェアトレードのペイヤーの場合、支払条件は製品代金と同じです。

コンベイヤーの場合、フェアトレード・プレミアムの支払いは、両当事者が別の期間に合意しない限り、請求書が発行されてから 15 日以内に行う必要があります、また四半期末から 30 日後にされる必要があります。

4.4 金融へのアクセス

プレファイナンス（前払い等）の意図は、生産者が合理的な形の資金援助にアクセスすることを助け、例えば小規模生産者組織の場合は、メンバーから原料（製品）を簡単に購入できるようにします。

この基準の下で「プレファイナンス」は、認証原料（製品）の生産者とバイヤーの間で合意された契約に対して行われる支払いのみを指します。

以前の基準では、プレファイナンスを要求するのは生産者次第でしたが、これは変更され、現在はプレファイナンス(req. 4.4.1)を提供するのは買い手次第です。

特定の状況（リスクが高すぎる、法律で許可されていない事前金融、または生産者がオファーを拒否する）の下で、買い手はプレファイナンスの提供を免除されます。その後、買い手は、生産者が高リスクと見なされる理由を監査人に正当化する必要があります。

この要求事項は最初の買い手に適用されるため、コンベイヤーが関与している場合、コンベイヤーはプレファイナンスを提供する責任があります。しかし、コンベイヤーはまた、輸入者（第三者の貸し手として機能する）を介してプレファイナンスへのアクセスを容易にすることができます。

買い手は、直接プレファイナンスを提供するか、これを第三者の貸し手によって行われることを容易にすることができます。この文脈における第三者の貸し手は、倫理的な銀行、または他のトレーダー（例えば輸入者）を指します。

買い手が直接プレファイナンスを提供する場合、彼らはプレファイナンスの条件(req. 4.4.2)に書面で同意する必要があります。

プレファイナンスの契約条件は、製品基準に記載されています。買い手は、契約の価格少なくとも 60% のプレファイナンスを提供する義務があります。ただし、両当事者が同意した場合、より高い割合を付与することができます。契約に署名した後、製品基準で指定された期間内に、事前の契約をいつでも利用可能にする必要があります。ほとんどの製品では、出荷の 6 週間前の期間です。プレファイナンスに関する契約は、両当事者によって決済され、契約の別のセクションまたは別の信用契約に書き留められます。契約は、事前融資、開始日、返済日、利率、支払いオプション、および前払いを整理して提供するための管理コストをカバーする必要があります。

買い手は、要求されたプレファイナンスに利息を請求する権利を有します。利息は生産者と買い手の間で相互に合意する必要があります。ベストプラクティスとして、彼らは生産者にとってより有利な条件であり、理想的には無利子であることが望ましいです。(VBP 4.4.4)

買い手が第三者の貸し手を介して事前資金へのアクセスを容易にする場合、買い手は第三者の貸し手がプレファイナンスを提供するために必要なすべての情報を提供する必要があります(req. 4.4.3)。



FAIRTRADE
INTERNATIONAL

一部の産品セクターまたは一部の雇用型の農園・工場では、プレファイナンスの要求事項は適用されないことに注意してください。

- 花やスポーツボールは、プレファイナンスの要求事項から免除されます。
- 生鮮果物の場合、プレファイナンス条件は、生産者とフェアトレードバイヤーの間で交渉され、契約で指定されるべきです。理想的なアプローチは、トレーダー基準に設定されたプレファイナンスが問題を引き起こす非常に腐敗しやすい商品の固有のニーズを考慮に入れます。
- 砂糖については、個々の SPO メンバーが工場に直接販売する場合、プレファイナンスは必要ありません。

またフェアトレードは、自発的なベストプラクティス(VBP 4.4.5)として、作物の資金調達⁶や前払い⁷、投資のためのローンなど、他のタイプの財政援助を提供することをバイヤーに奨励しています。

⁶ 作物の資金調達とは、肥料や種子を購入するなど、特定の作物の栽培を可能にするために、金融または材料のインプットを提供することを指します。

⁷ 前払いは、期日より前に支払われる通常の支払いを指します。

4.5 調達計画と市場情報

国際フェアトレードラベル機構は、フェアトレードの生産者とバイヤーとの間に、**長期的な計画**(数年先)と**持続可能な生産**を可能にする透明で持続可能な貿易関係を構築する方法を構築しています。これを容易にするために、トレーダー基準は、買い手が生産者に**調達計画**か、または少なくとも市場の見通しに関する現実的な情報を提供することを要求しています(req. 4.5.1)。

この要求事項の目的は、生産者が将来のフェアトレード販売の見通しについて可能な限り認識できるようにする、ということです。市場の見通しは、購入予定量と同じように理解されていますが、市場機会や市場の制約に関する定性的な情報や、販売契約を得るための進行中のステップに関する情報も含まれています。

調達計画を提供するためのタイムラインは、産品ごとに異なり、各産品基準で定義されています。

- 一年生作物の場合、調達計画は 12 ヶ月をカバーし、3 ヶ月で更新する必要があります。
- 季節の作物の場合、調達計画はシーズンをカバーし、シーズン開始の 2 週間前に更新する必要があります。
- 一年中収穫が出来る作物の場合、調達計画は 3 ヶ月をカバーし、期限切れになる 2 週間前に更新する必要があります。
- ドライフルーツ(収穫時期に依存しない加工品)については、調達計画の対象期間は両当事者が合意する必要があります。
- 花の場合、調達計画は 6 ヶ月の期間をカバーしています。

必要な調達計画に加えて、国際フェアトレードラベル機構は、購入者と生産者に定期的に情報を提供(価格、市場など)し、購入者が生産者にトレーニングやリスク管理のサポートを提供することを奨励しています。これは、自主的なベストプラクティスとして基準にも記載されています。

この要求事項は、最初の購入者とフェアトレード・ペイヤー(最初の購入者ではない場合)であるペイヤーに必須であることに注意してください。

また国際フェアトレードラベル機構は、サプライチェーンの最初の購入者の調達計画が、顧客から来る調達計画に依存していることを確認しています。したがって基準では、サプライチェーン全体の認証事業者に対し、自主的なベストプラクティスとして、調達計画と市場見通し情報を各自サプライヤーに提供することを奨励しています(req. 4.5.2.および 4.5.3)。

4.6 リスクの共有

このセクションの目的は、生産者とその購入者間のリスクのより公平な共有を促進することです。ここに含まれる主なリスクは、品質リスクです。

生産物が品質規格を満たしていない場合、購入者は生産者に連絡する必要があります。(req. 4.6.1) また、購入者は、契約 (req. 4.6.1) で定められた生産者の管理/責任範囲外の製品仕様を要求することはできません。この要求事項は、不可抗力とは見なされませんが、生産者の管理/責任の範囲外にあるすべての主張をカバーしています。例えば、バナナが EXW 条件で販売され、港に積み込まれている間に傷ついていた場合、生産者の敷地内で確認した時点では製品の傷はなかったため生産者はこの責任を負う必要はなく、責任外となります。

4.7 キャパシティ・ビルディング

このセクションの目的は、生産者の発展に貢献するため、認証事業者が商業取引を超えて生産者に提供する追加の支援を認め奨励することです。

最初の例では、生産者と労働者の優先度の高い項目について支援を行うことを定めています(VBP 4.7.1)。支援は生産者に一方的に課されるべきではなく、生産者組織自体が自身のニーズに従って決定する必要があります。

支援は、生産者または労働者に支払われるフェアトレード・プレミアムに加えて行う必要があります。支援分野は、生産者/労働者が選択する必要があります。直接またはパートナーシップを通じて、資金、トレーニング、パートナーシップの円滑化、その他の手段の形で支援を行うことができます。

国際フェアトレードラベル機構はまた、遠隔地または紛争に影響を受ける地域の脆弱な生産者グループを探すためにわざわざ出向く認証事業者がいることを認識しています (VBP 4.7.2)。

この要求事項は、生産者(輸出者または輸入者)から直接購入する事業者、または脆弱なグループからの供給を要求するサプライヤーがいる場合に適用できます。生産者組織の選択に影響を与えない事業者にとって、この自発的なベストプラクティスは適用されません。

生産者の市場へのアクセスを促進するために認証事業者が実行するアクションも認められています(VBP 4.7.3)。この例には次のようなものがありますが、これらに限定されません。

- マーケットまたは商業開発サービスを提供し、生産者の利益を促進させる
- 生産者とのトレーダーとの接触を促進し、生産者が新しい市場機会の利益を得られるように取り図る
- トレードフェアに参加し、生産者を招待する
- 商業プロモーション資料等で生産者を支援する
- ウェブサイト、チラシ、ニュースレターなどのコミュニケーション資料を通じて生産者の宣伝を行う

4.8 誠実な取引

この要求事項は、フェアトレードがこの基準で明示的にカバーされていない、容認できない不公平な取引慣行を制裁することを可能にする一般的な要求事項(req. 4.1.8)ですが、フェアトレードシステムの信頼性とフェアトレード認証事業者が製品を取引する能力に影響を与える可能性があります。この基準は、欧州委員会が作成したグリーンペーパーに基づいて、主要な不公正な取引慣行の例のリストを提供します。このリストはすべての事例を網羅していないので、そこに言及されていない他の主要な不正行為もこの要求事項の対象となります。

監査人は、容認できない取引慣行が見られていないことを確認します。もし確認した場合は、監査人が詳細に調査します。

また、利害関係者(認証事業者、フェアトレードスタッフ、監査人..)が不公正な取引慣行を主張した場合、認証機関に申し立て申請を行うこともできます。申し立て申請の手続きは下記をご確認下さい。

<http://www.flocert.net/fairtrade-services/fairtrade-certification/appeals-and-allegations/>。

トレーダー基準の詳細については、スタンダードユニット(standards-pricing@fairtrade.net)までお問い合わせください。